

平成30年度 第2回 新潟市食肉センター指定管理者申請者評価会議 議事概要

日 時： 平成30年10月2日（火曜） 午前10時～11時30分

場 所： 新潟市役所 分館1-103会議室

出席者： 評価会議委員：西野委員，中林委員，鈴木委員，牧委員，高野委員

事務局：小林農林政策課長，佐藤農林政策課長補佐，齋藤企画管理係長，栗川主査，藤中

羽賀食肉衛生検査所長，笹川食肉衛生検査所係長

申請者：公益財団法人新潟ミートプラント 朝妻理事長，大矢事務局長，酒井総務課長，高橋総務課長代理

1 開会

2 議事

(1) 選定スケジュールについて

(2) 指定管理者申請者の選定における申請内容に関する事項について

・申請者によるプレゼンテーション（公開）

(申請者) あいさつ

プレゼン資料・事業計画書（議会説明用・公表情報）を使用した説明

・プレゼンテーションに対する質疑応答（公開）

(A 委員) と畜場に搬入される豚の流入元について

市外，新潟県外の内訳はどうであったか。

(申請者) 県外については山形県がほとんどを占めている。その他は秋田県，岩手県など

市外については新発田市，三条市，関川村，村上市，胎内市など

(B 委員) 事業計画書「自主事業を実施する場合の事業計画」

牛ヨロイ・ゼロ強化月間の実施とあるが，その内容について

(申請者) 鎧とは，牛や豚の後方についた糞や泥を出荷の時点で洗浄していない場合，と畜場に到着するときに鎧のように固くなってしまいうことをいう。

これは衛生的によくはないため防ぐ必要がある。特に冬季の間は寒さもあり洗浄の部分が弱くなることあるため，1月～2月の強化月間の

中で、特にアピールをしていこうということ。

雑菌の繁殖を防ぐために洗浄する作業についてはミート側でも行うが、出来る限り民間事業者に行ってもらうための強化月間としている。

(C 委員) プレゼン資料 4. 枝肉の自主検査について
検査結果について、利用者へフィードバックする等の活用は行っているか。
HACCAP への取組状況はどうか。

(申請者) 内部の手順見直しにおける自主管理という形で活用をしている。
作業のやり方・服装・消毒の仕方等々すべて含めたものの点検結果を月 1 回まとめあげ、それを衛生管理責任者・作業衛生責任者と食肉衛生検査所の技師とで会議を行い取扱いについて検討している。
良くなかった点があった場合はその都度従業員に連絡・情報開示を行っている。
衛生管理手法である HACCAP はまだ準備段階で認証は受けていない。
HACCAP 制度はと畜場においては義務となっているが、最終的な実施期限がまだ示されていない。2021 年頃になると思われるため、引き続き食肉衛生検査所の指導を受けながら HACCAP 認証に向けて進めていく。

(D 委員) 解体手数料の値上げについて、値上げ幅はどのように決定したか。
業者からの反対はなかったか。

(申請者) 公益財団法人という性質上、単年であっても利益を残せないため費用=収入が原則となる。
費用については過去にかかった経費の実績を基に今後の見込みを、収入については豚換算の処理頭数の見込みにより今後の見込みを算出し、今後 3 年間の収支が合うような解体手数料の算出を行った。
利用者からの反響としては、値上げにほぼ反対であった。値上げ決定の最後の理事会では賛成・反対ほぼ同数で、理事長権限で値上げを決定した。

・評価委員による意見交換及び評価項目に対する評価（非公開）

【配布資料】

- ・資料 1 新潟市食肉センター指定管理者指定申請書類一式
- ・資料 2 指定管理者選定基準・評価項目